

第 2 回中国 F I A 会議に出席して

(名工大) 和田弘子

1989年10月19日から21日まで中国沈陽(瀋陽)市で開催された第2回全国流動注射分析学術報告会(Second National Conference on Flow Injection Analysis)に石橋信彦先生(九大工)と筆者が招待され出席した。この会議は方肇倫先生(中国科学院応用生態研究所)が中心となって2年に1回開催されるもので、第1回の会議には、桐栄恭二先生と鈴木繁喬先生が招待され総合講演をされている。会場は遼寧(遼寧)科学技術館で、参加者は同所に宿泊した。

第一日目には、5件の総合講演が行われた。

1. On-line analysis and reversed flow-injection analysis
MA Huichang (馬恵昌) (中国科学院生態環境研究センター)
2. Optimization and application of flow injection in hydride-generation atomic absorption spectrometry
Berhard WELZ (Bodenseewerk Perkin-Elmer & Co GmbH, Federal Republic of Germany)
3. Flow injection titration using buffer solutions
石橋信彦(九大工)
4. The application of FIA-chemiluminescence methods in inorganic analysis
WEI Qingxun (魏慶詢) (吉林大学環境化学系)
5. Effect of FIA components on the peak profiles
和田弘子(名工大)

また、最終日閉会式に先だって、

Some new developments in flow-injection on-line preconcentration for atomic absorption spectrometry

FANG Zholun (方肇倫)

の総合講演があった。

一般講演の申し込み数は77件であったが、実際に発表が行われたのは招待講演を含めて55件であった。内容は、吸光光度法33、電気化学的方法12、原子吸光法17、化学発光法4、機器に関するもの11件などである。また、FIA機器の展示も行われた。中国内の5メーカーと日本からサヌキ工業(株)が参加した。

筆者は、この学会の前16日と17日に天津大学分析センター趙秋雯先生の招きで、天津大学においてFIAの基礎と応用に関する講義と機器のデモンストレーションを行った。天津大学、天津市クロマトグラフィー研究会、天津市科学技術委員会の共催であったが、両日とも大学、研究所および工場から80~90名の参加者があり、FIAに対する関心が非常に高いことを知った。